

令和8年度朝霞地区 医療・介護従事者向けACP研修

～より良く生きる！を支え、実践力を身につける～

令和8年6月14日（日） 9:00～16:30

研修修了後、30分程度の「振り返りの会」を開催いたします（自由参加）

朝霞市産業文化センター 2階 研修室1

対象 朝霞地区内医療介護従事者

内容 講義、演習、グループワークなど（詳細は裏面をご覧ください）

持ち物 筆記用具、昼食、飲み物（ゴミは各自お持ち帰りください）

定員 40名

講師紹介

埼玉県ACP普及啓発講師人材バンク登録医師

堀ノ内病院 副院長 **堀越 洋一** 医師

1994年から2013年まで、国立国際医療研究センター国際医療協力局に所属。アジア、アフリカ、南米など30か国の貧しい国々で、「防げる死をできるだけ減らす」ための活動に従事。

2013年より堀ノ内病院地域医療センターに所属。「その人らしい穏やかな死の実現」のために在宅医療に携わっている。

2000年頃より、自分も相手も大切にする感性を磨く相互学習「ラボラトリー方式の体験学習」に取り組んでいる。



お問合せ

朝霞地区医師会地域包括ケア支援室

TEL: 048-465-6575 FAX: 048-423-7544 E-mail: kyoten@asakamed.com

主催：一般社団法人朝霞地区医師会 地域包括ケア支援室／朝霞市／志木市／和光市／新座市

講座の 内容

① わたしのライフライン（演習）

人生会議（ACP）を自分事としてとらえます。主体的に自分の人生を振り返り、自己理解を深めます。そして利用者への人生会議（ACP）支援を考えます。ACPを実践する際に支援者として、どのような準備をすべきかという思いに応える内容です。

② 悪い知らせを聞いた時に（ロールプレイ）

実際に「悪い知らせ」を医師から告げられるという疑似体験を通して、自分や相手の心の動きや感情に注意を向けて、感じたものをグループで共有することにより、支援の手掛かりを探ります。

③ わたしたちの選択（グループワーク）

「人生の最終段階の選択」を主題として、自分と他者の価値観を知り、異なる価値観を擦り合わせることが妨げる葛藤などを体験します。その葛藤の中でも関係性を築いていくコミュニケーションスキルも学ぶことができます。

バックグラウンドの違う中でも思いを伝えていくこと、話をきっていくことの大切さ。その中で自分には見つけられなかった意見に気づけた。（看護師）

講義内容、グループワークも内容がとても充実していて学びを深められた。（介護職）

様々なところで働く医療者と情報共有し、価値観の違いや新しい考え方を学ぶ機会となった。（薬剤師）

自分の人生を大切にしつつ、相手の人生も尊重する姿勢が身につけられると思った。（社会福祉士）

まずは自分、そしてグループワークを行うことによって視点が広がった。複雑化する問題に対して、あらゆる支援方法を考えることは大切だと思う。（行政）

ここでしか学べないような気づきが多かった。（ケアマネジャー）

これまでの
受講者の声